

議 員 総 会 会 議 録

日時：平成25年5月31日（金）

場所：全員協議会室

午後 3時00分 開 会

欠席議員：山田清一議員

○中村宗雄議長

ただいまより、議員総会を開会します。先日のご案内の中では、「新庁舎建設事業の入札の経過及び今後の対応について」ということでしたが、今日の新聞発表にあるように、南海トラフのことが大きな問題になっていますので、この部分も含めて、議員総会の中で説明を受けたいと思いますので、よろしくお願いいたします。それでは、協議題1、南海トラフ巨大地震に係る市町村別被害の推計値についてを議題とします。当局の説明を求めます。

○斉藤清勝防災監

【資料に基づき説明】

○中村宗雄議長

ありがとうございました。新聞で報道されました、数字ばかりが先走って、衝撃的な数字でしたので、市民の間でも心配な感情が走っていますので、今日は担当の方から、数字の読み説き方というのか、どういう条件でこの数字が算出されているのかというところを説明していただきました。このことについて、ご質疑等ございませんか。

○山本博信議員

わからない語句があったので、教えていただきましたんですけど、愛知県が公表した中で、「町丁字」というのがわからないんですが。

○斉藤清勝防災監

愛知県の被害想定は、基本的には去年国が公表した基礎的なデータに基づいていますが、唯一愛知県が新しく収集したのが、各市町の課税台帳から、〇〇町、〇〇丁目、それごとに家屋を当てはめて修正を試みたというところです。これが唯一愛知県が新しく試みた調査項目です。

○山内悟議員

1 ページ目の津波ケース①、⑥、⑦、⑨というのは、先ほど11 ケースあるうちの①、⑥、⑦、⑨を選んだという感じですけど、どういう分類がされてて、半田の場合なぜこの①、⑥、⑦、⑨なのか教えてください。

○斉藤清勝防災監

昨年国が南海トラフの震源域で起こる地震を想定した時に、前後700キロメートルにおよぶ長い震源域で、昔で言えば、東海、東南海、南海というエリアなんですけど、そこで実際どういう地震が起きるのか、主にどの箇所で一回目が滑って、二回目が滑るのかとか、あらゆる700キロメートルにわたって、滑る可能性のあるやり方、これを11パターン国がやったんですが、昨年の報告書を見る限り、半田市に限れば、この津波ケース

①が一番影響が大きいと考えておりました。愛知県としても 11 パターンのうち、愛知県も外洋に面するところもあるし、エリアは様々でありますので、愛知県なりに 11 パターンのうちで、この 4 つのケースが愛知県に及ぼす影響が一番大きいだろうということで、それぞれの化以降の滑り方をケーとして捉えて、個々にチェックをしたというところですので、これを除く残りのケースについては、愛知県に対する影響はこれほど大きくはないということで、削除されたと伺っています。

○山本半治議員

2 ページの、全壊・焼失というところなんですけど、これは津波で壊れるのか、地震で壊れるのか、どちらの数字なんでしょうか。

○斉藤清勝防災監

資料をご覧くださいますと、揺れで 11,000 棟、液状化、あと津波浸水というところが、具体的な数字が入っていません。これは右の方の表の下に、備考欄というか説明欄がありまして、被害がわずかであるというところの印でございますので、ほとんどカウントできないほどの津波による影響と。昨年国が公表した数値というか、基本的な設定をそのまま使っていますので、半田市の場合は、まず堤防が破壊されないということで、内陸部への浸水はごくわずか、河川を遡上したものが若干乙川地区でこぼれてきますが、その被害想定をそのまま今回は愛知県が使用していますので、津波による倒壊はごくわずかという表現にとどまっています。

○沢田清議員

今後の半田市の対応というところで、早期避難について重要性がある。特にお年寄りの避難について心配だと思うんですが、どうやって今後周知していくのか。

○斉藤清勝防災監

ご質問いただきましたように、少なくとも要援護者と言われる方々の避難計画というのをきちんと考えていかないといけないと思います。昨年 1 年かけて、津波に対する緊急避難ビルというのは、相当数協定をいただきました。面積的には、4 万平米を超える面積を確保はしていますが、そこにいたるまでの道すがらのこともありますので、この要援護者については、これから地域福祉課とも連携しながら、お年寄りへの周知というのを今まで以上に強めていく必要があると思います。

○中村宗雄議長

その他ありませんか。

【発言する者なし】

ないようですので、しばらく休憩します。

午後 3 時 11 分 休 憩

午後 3 時 12 分 再 開

○中村宗雄議長

再開します。続きまして、協議題 2、新庁舎建設事業の入札の経過及び今後の対応についてを議題とします。当局の説明を求めます。

○水野節総務部長

新庁舎建設事業の入札の経過及び今後の対応につきまして、ご説明をさせていただきます。今回の入札につきましては、総合評価方式による落札候補者を決定し、入札後に

J Vを結成していく方法を取っています。しかしながら、総合評価方式による入札の結果、入札価格のすべてが予定価格を上回り、入札につきましては、不調となりました。不調となった原因、今後の予定等につきましては、担当である総務課の方からご説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

○山本卓美総務課長

【資料に基づき説明】

○中村宗雄議長

説明は終わりました。ご質疑等ございませんか。

○中川健一議員

随意契約にした場合に、誰が最終的に決定するのかだけ教えてください。

○山本卓美総務課長

今現在の予定といたしましては、先ほど申し上げました通り、最高の技術評価点の順位と、価格評価点の、一番安い価格を提示したものの、これは同じですので、その1社を前提に交渉を進めながら、最終的には市長が出した予定価格と、今予定している事業者が出した見積書の額が合えば、そこで契約という形になります。今現在は、一番最初の表で申しますと、A社と随意契約を前提に交渉を進めていきたいということです。

○新美保博議員

ここに至っては、こういうことにしかならないのかなというふうに理解はしています。ただ、この方式をやるって言ったときの当初の説明は、たくさんの業者の人達に提案してもらうんだと。半田の市内業者が10社いて、J V組んだところで、5つしかできないよと。そうじゃなくて、たくさんの提案をもらう、その中で一番いい提案をもらうということでスタートしたと思う。それを忘れちゃうと困るんで、今4つしか出てこないわけで、なぜ4つしか出てこなかったのかと。それは東北の関係もあるでしょうし、それぞれの業者の思いもあると思いますけど、それがなぜこうなったのかというところの、検証は当然していただかないと、半田市が作って、俗に言えば、日本で初めてだというくらいの方式と言われているところが、さも当たり前のようなことでスタートした。結果としてこういう状態が生まれたけども、少なくともたくさんの総合評価の選ぶところではなかったことが事実としてあるわけですから、これがどうしてこうなったのかという検証をどこかの段階でして、報告していただきたいというのが1点。それから、随意契約といっても、結局のところ、日にちが後ろがつまっているから、やらなきゃいけない、完成しなきゃいけない、もっと言えば、移転をしなきゃいけない時期が決まっているから、こういったことでやむを得ずやるっていうことだと思う。逆に言えば、半年延ばしたり、1年延ばしたりすることの難しさがあるとするなら、やむを得ないかもしれないけど、決してこれはいい方法ではない。4社しかいなければ、もう1回やり直すとか、もしやるなら指名競争入札にするとか、方法はあったはず。今ここで論じてもしようがないかもしれないけども、これがノーマルな形でないことだけは、言っておきたいと思います。これは決して、業界がどうのこうのじゃなくて、半田市民にとっても、半田市にとってもいいことではない。だから、これから、まだ候補者が決まるだけの段階だと思うので、このときにいかに市内の業者と、市内の材料をとるのも、半田市のための調査だと思っていただいて、ことが進められるように、これを今からやっぱり役所

が入らないとできないことがたくさんあると思うので、それだけは苦言を呈しておきたいと思います。

○藤本哲史副市長

ただいまいただきましたご意見、2点にわたったかと思っています。まずは、本来もっと多くの提案をいただくべきこの方式で、最終的には4社のエントリーしかなかった、このことについては、今後その4社の他に当初、興味を示した業者は7社いましたので、それらのところに対しても、一定程度意見徴収や、参考意見をいただくなりして、そうなったことの総括などを、またご報告させていただきたいと思っています。それから、2点目のこうした随意契約を行うという方法は、決してセオリーにかなったものではないと思っています。当初、再度もう一度総合評価方式を実施するという 것도検討する中で、そのデメリットも非常に大きいと、これは先ほど申し上げたとおりですけど、その点も十分比較考慮する中で、最善の、今回の随意契約という方策を提案させていただいたところでございますので、その点は私どもも理解をしておりますし、是非皆様にもご理解をいただきたいと思いますと思っています。

○松本如美議員

先ほどの中川議員が言われたことの中で、市長が決めるということの確認ですけども、例えば半田市 50 億円、札を入れたのが、50 億円は超えてるけども、55 億円を最低にして、60 億円とか 70 億円あったよって言って、その決めるという範疇ですけども、今言う一番安かった 55 億円が固定でいくのか、あるいは市長が決めるという意味合いの中に、まだまだ条件を変えずに、それが下がっていく可能性も含めて、交渉の余地があるのかといいますか、価格が、どこまで、その間で動くという意味合いなのか、そのうえで市長が決めるのかだけお尋ねします。

○山本卓美総務課長

基本的には、業者の提示した額が上限額となろうかと思っています。私どもが積算をしました、額との開きの部分について、私どもも積算をし直しまして、予算金額を立てます。むこうも、今現在の設計書を持っていますので、その部分でどんな提案が安くできるか。ただし、私どもが要求している標準的な仕様は変えずに、どんな部分で削減が出来るのかということは、今お願いしている最中です。そこの接点を見出して随意契約を結んで行きたいという形で考えております。

○中村宗雄議長

その他ございませんでしょうか。

【発言する者なし】

ないようですので、次に移ります。協議題 2、その他について、何かございませんか。

【発言する者なし】

ないようですので、これをもちまして議員総会を閉会します。

午後 3 時 3 0 分 閉 会